

FactoSense

wattXplorer

ワットエクスプローラ

設置工事・設置作業付きプラン

サーバー
設置
設定

デバイス 可視化
設置 ソフト

上記全てのセットプランです。

電力計測を行いたい機器を決めて頂ければ
デバイス設置、初期設置を請け負います。



中小企業省力化投資補助金(一般型)
公募:3~4回/年
補助率:1/2、2/3



CO₂の見える化を簡単に!

100万円(税別)で

希望小売価格
100万円(税込110万円)

セット内容
サーバーPC 1台
オンプレミス可視化ソフト
wattXplorer 単相二線 100Aタイプを5台
wattXplorer 三相三線 250Aタイプを5台
電源アダプタ、USBケーブル
設置前現地調査費用
デバイス設置・サーバー設定作業費用



お客様の声

脱炭素対策の電力測定が実現できる!

上記セットの場合の価格です。設置機器数量により価格は変動します。上記価格に設置場所までの交通費は含みません。



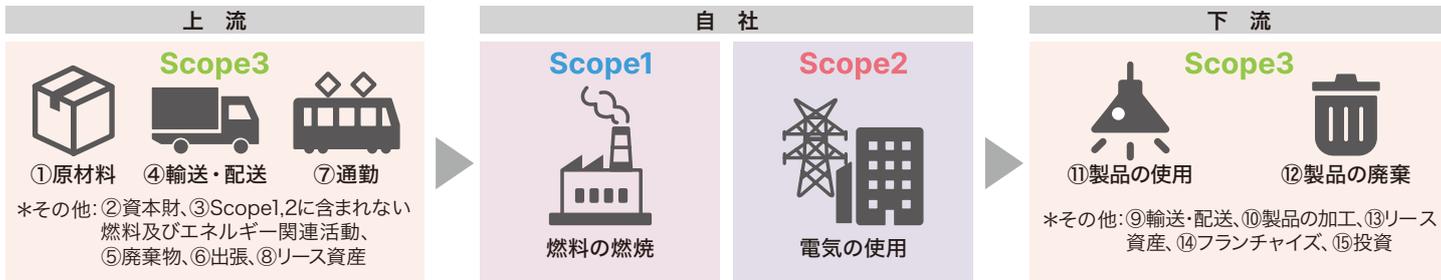
旭光電機株式会社 神戸市兵庫区荒田町1丁目2-4

TEL:078-938-1503

✉ :info@kyokko.co.jp



サプライチェーン排出量 = Scope1排出量 + Scope2排出量 + Scope3排出量



Scope1: 事業者自らによるGHGの直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出 (事業者の活動に関する他社の排出)

出展: 環境省、サプライチェーン排出量 概要資料, 2023年3月

CO₂排出量 = 排出係数 × 活動量

製品1個当たりのCO₂排出量算定 (CFP) の取組が加速

事例 H社様

問題点

お客様から射出成形部品のCO₂排出量開示要求がきた。

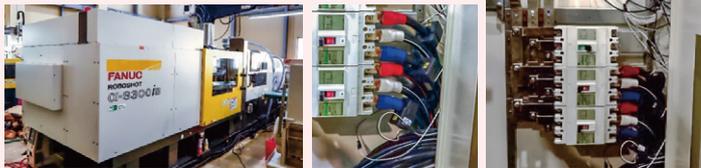
その時の対応

工場の総消費電力量を、射出成形機使用時間とカタログ値で按分して消費電力を推定し、その消費電力を部品数で割ってCO₂排出量を計算した。

wattXplorer導入

解決

消費電力・CO₂排出量をリアルタイムに計測・記録するので、成形部品毎に簡単にCO₂排出量の確認ができた。

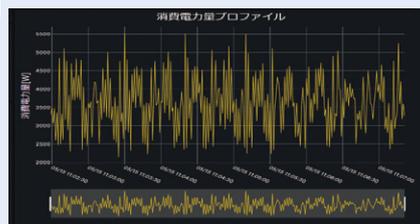


事例 H社様

活用術① (製品不具合検知)

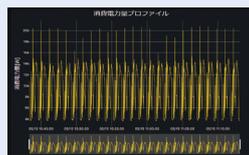
量産成形品時に、突然波形パターンが不規則となった。

→迅速に射出成形機の確認ができ、不良品数を減らすことができた。

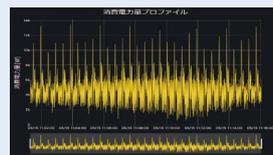


活用術② (機械寿命予測)

成形機の不具合予見に役立つ。古い成形機は波形パターンが不規則となり、動作時の負荷が大きいことが分かった。→リプレース順番を決定。



2021年製



1995年製

事例 H社様

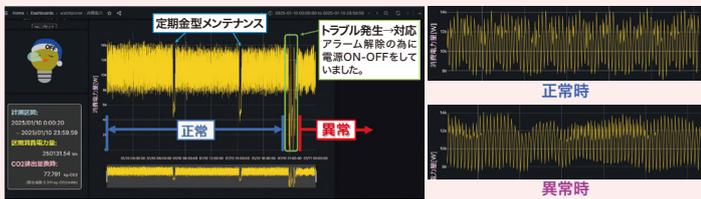
問題点

社内検査時、寸法は合格だが、重さが規格外となり不合格。いつ成形したかが不合格品か分からない。原因も不明なため、このままでは量産できない。

wattXplorerのデータ解析

解決

波形データ履歴より、正常時の波形と異なる波形が見られた。その時の成形機ログを見直すと、成形条件数値は同じだが、トラブル対応時、成形機のモードが「射出速度優先」→「射出圧力優先」になっていたことが判明。



事例 K社様

問題点

中小企業SBT認証取得後、Scope2削減に取り組むに当たり、不定稼働設備 (天井クレーンや溶接機など) の消費電力量をどのように見える化すれば良いか悩んでいた。

wattXplorer導入

解決

電力波形をリアルタイムで確認できるので、設備の動作開始～終了が一目で分かり、消費電力量を簡単に把握することができた。



▼ wattXplorerセットプラン可視化内容 (無線アクセスポイントは含みません)

※CSV出力可

Wi-Fi 無線アクセスポイント MQTT

▼ 上位システムとの連携

Wi-Fi 無線アクセスポイント Modbus

▼ 各種SCADA・システム連携

データ蓄積 CO₂排出量算定